

売れる米づくり技術情報No.3

～なんかん米 光る粒張り 粒ぞろい～

令和6年5月24日
JAえちご中越
なんかん北営農センター

適期中干し・溝切り実施で品質向上！

1. 中干し前にワキの発生を抑制して、生育停滞を防止しましょう！

- ワキの発生が多いと根を傷め、生育が停滞して茎数が増えにくくなります。ワキが発生する場合は「降雨時の水の更新」や、「夜干し」によりガス抜きしましょう。
- 夜干しは風の少ない日の夕方から朝に実施し、発生が多い場合は2日連続で行いましょう。

【ワキ対策にオススメの資材】鉄分の補給で初期生育を促進！

田んぼの鉄人（土壌改良資材） 15kg 規格 3,030 円、5kg 規格 1,370 円(当用配達税込価格)
水質を浄化し、藻・表層剥離やワキの抑制に効果的です。水溶性の鉄 17%を含むため、鉄不足の圃場の秋落ち・ごま葉枯れ病対策としてもおすすめです。
■施用方法：藻やワキの発生か所に 1a あたり 2～3kg を手または動力散布機でスポット処理する

2. 中干しは圃場で茎数を確認し、遅れずに行いましょう！

(1) 中干しの開始時期

- 移植後 25 日をめやすに必ず圃場で茎数*を確認
※2枚以上葉のついた茎を数え、茎数とします
- 遅くとも移植後 30 日までは中干しを開始する
- コシヒカリは目標穂数の 70%、こしいぶきは 80%を確保したら開始する（直播栽培は目標穂数の 70%）



中干し開始適期の圃場

条間が奥までスッキリ見通せる！

【中干し開始時期のめやす】

品 種	目標穂数 (本/㎡)	開始めやすの茎数				葉数 (枚)
		50 株植(本/株)	60 株植(本/株)	直播(本/㎡)	㎡あたり本数	
コシヒカリ	350	16	13	77	250	7
こしいぶき	400	21	18	85	320	
その他	-	-	15~19	-	-	
五百万石	325	-	14	-	260	

※その他品種・・・ゆきん子舞、つきあかり、あきだわら

○ 中干しは早期に開始することで、目標どおりの生育調節が可能です！

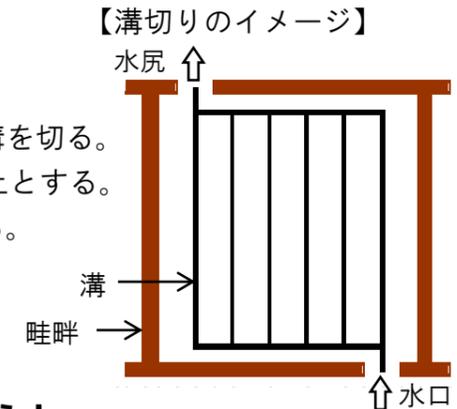
中干し開始時期と収量構成要素・乳心白粒（佐渡農技センター）

中干し開始時期 標準日差	目標穂数比	稈長 (cm)	穂数 (本/㎡)	㎡当たり籾数 (粒)	千粒重 (g)	精玄米重 (kg/10a)	乳心白粒 (%)
早期 (-10日)	42%	93.0	378	26,600	22.2	517	4.7
標準 (±0日)	85%	96.3	410	28,800	21.8	500	8.9
遅期 (+10日)	143%	97.5	427	30,000	22.2	529	11.7

目標穂数 40%程度の早期中干しでも標準的な開始の場合と収量に差はありません。逆に、遅い中干しは倒伏を助長するとともに、乳心白粒が増え、品質の大幅な低下につながります。

(2) 溝切りの方法

- ① 落水し、2～3日地固めをする。
- ② 作業時は機械が動く程度に入水し、周囲に溝を切る。
- ③ 溝の間隔は8～10条おき、深さは10cm以上とする。
- ④ 溝と溝を連結し、必ず水口と水尻につなげる。
- ⑤ 作業が終了したら落水する。



溝切りは中干しとセットで必ず行いましょう！

(3) 中干しの強度と終了時期

～本格的な梅雨入り前までに始めましょう！～

- 適正強度： 田面に小ヒビが入り、歩くと足跡が付く程度
- 終了時期： 遅くとも出穂 1 か月前までに終了

◎大ヒビが入るような強すぎる中干しや中干し終了の遅れは、上根が傷んで根域が狭くなるため、幼穂形成期以降の葉色低下を招き、高温年は基部未熟粒の増加につながります。

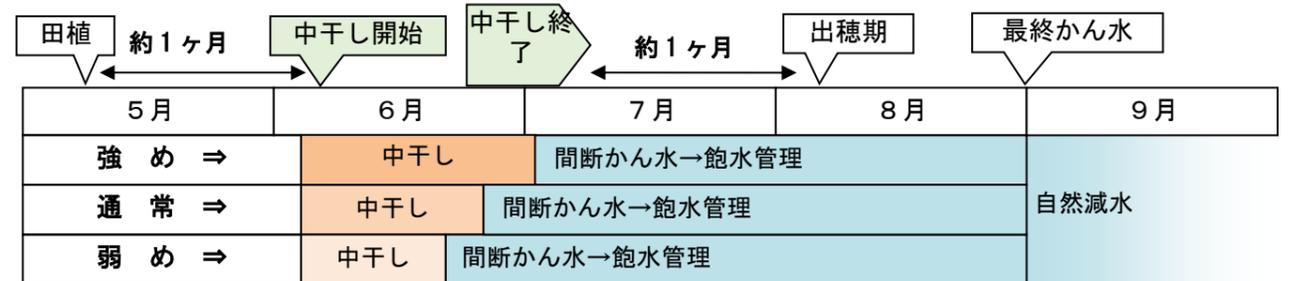
◎大豆跡や生育過剰になりやすい圃場は強めの中干しを心がけましょう。

⇒早めに落水し、小ヒビが入ってから数日干す。

◎生育不良で、茎数が増えにくい圃場は弱めの中干しを心がけましょう。

⇒終了時期を早める。

■中干し実施とその後の水管理イメージ



中干しの効果

- ① 過剰な分けつの発生を抑え、籾数を適正にして玄米の充実を良くする。
- ② 下位節間の伸長を抑え、倒伏を軽減する。
- ③ 梅雨入り前に地固めすることで、収穫時の機械作業が可能になる。
- ④ 根に酸素が供給されて根が下方方向にも発達し、根域が広がる。穂肥や土づくり肥料をしっかり吸収できる、健全な根をつくる。

溝切りの効果

- ① 中干しの効果を高める。
- ② 異常高温やフェーン発生など緊急時の迅速なかん水や、秋の長雨による停滞水の排水が容易になる。

3. 中干し後の急な湛水は根腐れを起こすので、浅水の「間断かん水」で根への酸素供給を行いましょう！

- 穂肥施用からは「飽水管理」へ移行し、土壤水分を十分に確保しましょう。

間断かん水…湛水状態と落水状態を数日間隔で繰り返す（2日湛水、3日落水が基本）。
飽水管理…田面の高い部分が湛水するまで入水し、溝や足跡に水が散見される程度まで自然に減水したら、再び水深3～5cm入水する。

4. 葉いもち防除を徹底しましょう！

（1）本田で予防粒剤の散布による防除が必要な場合

- わたぼうし、新之助などいもち病に弱い品種を作付した場合や、いもち病多発地域、多収性品種の多肥栽培で箱施用剤未施用の場合は、6月10日頃までに本田で予防粒剤を散布しましょう。
- 耐性菌が確認されたQol剤は使用せず、他の剤を選択しましょう。
 【Qol剤の例】水面施用剤：イモチエース・オリブライト、茎葉処理剤：アミスター
 ※いもち病の予防粒剤については、米穀課又はあぐりセンターへお問い合わせください。

（2）圃場の補植用置き苗は補植終了後直ちに除去する

補植用の置き苗はいもち病が発生しやすく、放置すると葉いもちの伝染源となります。発病した補植苗から700m離れた圃場からも低密度ながら病斑が確認される場合もあります。周りの圃場への伝染を防ぐため早めに除去しましょう。



5. 斑点米カメムシ類を防ぐため、草刈り等の雑草管理に努めましょう！

カメムシ類を防ぐには、稲の生育期間を通して雑草の穂が出穂しないよう管理することが大切です。特にイネ科雑草、水田内のイヌホタルイは産卵場所であり、種子(穂)はエサでもあるため特に注意しましょう。

草刈り4つの効果

- ① エサをなくす
- ② すみかをなくす
- ③ 産卵場所をなくす
- ④ 薬剤をかかりやすくする

【効果的な畦畔・農道等の雑草管理】

- ①カメムシが発生する5月下旬頃から、雑草が結実しない間隔(約3週間)で草刈りを継続する。
- ②地域の一斉草刈りは、6月中下旬、7月中旬(早生出穂前)の2回を基本に行う。
- ③刈取った雑草は全面着色粒原因菌の温床となるため、放置せず持ち出す。

6. ケイ酸・加里の中間追肥で登熟を良好にしましょう！

- ケイ酸には耐病虫害性の向上・倒伏軽減・高温障害の低減効果に加え、光合成促進によりデンプン生産量を増加させ、登熟歩合向上の効果が期待できます。
- 加里には葉で生産されたデンプンの粉への移行を促進し、低日照下では光合成の低下を抑え収量低下を防ぐほか、根腐れ・ごま葉枯病の病斑拡大を抑制する効果があります。

【ケイ酸・加里追肥の効果】

稲のケイ酸吸収量は幼穂形成期以降に多くなるため、ケイ酸の中間追肥は水稻の品質・収量向上に対する効果が期待できます。加里もケイ酸とともに登熟を良好にします。

暑い夏場 農道・畦畔の雑草管理をラクにする資材のご案内！

こんなことで困っていませんか？

- 忙しくて畦畔除草に手が回らない…
- 除草作業の回数を減らしたい…
- 畦畔雑草が多く、カメムシの被害が多い…
- 真夏の除草は嫌だ！

このような問題、解決します！！

6月下旬～7月中旬の1回の除草剤散布で秋まで除草作業が不要です！！

2剤を混ぜることで、『抑草効果』と『殺草効果』の両方を発揮！

「これから生えてくる雑草をたたく！」 **ダイロン** (ホクコー)

「いま生えている雑草をたたく！」 **ザクサノズル** (アグロ)

※雑草があまり大きくならないうちに使用すれば、より効果的！**混用の際はダイロンソルを先にいれてください。**

※注目！ザクサノズルでの散布が効果的！
 飛散しにくい！
 散布イメージ
 薬液が雑草や土壌によくかかるので効果が安定します。
 飛散しにくいキリナシタイプ。

お知らせ 新規被覆肥料『Jコート』への切替

越後の輝きシリーズとスーパー元肥2号の製品に配合する被覆肥料を『Jコート』に切り換えました。

- ◆プラスチック使用量を削減し、被覆殻の崩壊性が向上
- ◆崩壊することで水面に浮遊しにくく、被覆殻の圃場外への流出防止に貢献
- ◆被覆の強度は従来被覆と遜色なく、ブロードキャスター等でも施肥可能



新しいお米情報専用 LINE の切替登録をお願いします。

方法① ID 検索
 [友達追加]>[検索]で @287vzxcx を入力

方法② QRコードを読み取る
 [友達追加]>[QRコード]で、右のQRコードを読み取る。

お問い合わせ《電話番号》
 なんかん北営農センター米穀課：0256-47-1429